

# 飯田市小中連携・一貫教育 H26 年度ステップアップ展開のイメージ

## 【飯田市小中連携・一貫教育の基本方針】

- (1) 義務教育9年間に於いて、各校や地域の特色を生かした一貫性のある教育活動を行い、地域を愛し、将来の飯田市の担い手となるよう **ムトスの心、結いの心を育む。**
- (2) 9年間の発達段階に応じた教育活動のカリキュラムや指導体制の研究を行い、**子どもたちの学力・体力の向上と生徒指導の充実及び不登校問題の解決**を図る。

- (3) 中学校区単位で、小中連携・一貫教育によって育みたい力を共通理解し、教職員相互の連携を活性化し指導力を高める。
- (4) 小学校間・小中学校間の交流を一層進め、小学校から中学校への円滑な接続を図る。
- (5) 学校評議員や公民館を含む地域組織及びボランティア等の教育活動への参画・支援によって、地域と学校との連携を深め、飯田の資源を積極的に活用した連携・一貫教育を行う。
- (6) 現存する学校施設を生かした形で連携・一貫教育に取り組む。(施設分離型)

H26 年度の  
具体化

課題：不登校対策、  
特別支援教育支援の充実

個々の基礎的な学力の  
客観的な把握分析と指導検証  
↓  
「飯田の子ども  
学力アップチャレンジ」  
・標準学力検査の実施

地育力を生かした  
学力の向上

中一ギャップの解消

<課題>学習支援ボランティア制度や学校地域  
支援本部、コミュニティースクールの導入検討

<課題>ふるさと学習の充実展開による学ぶ  
意欲の醸成、学力向上研究指定校制度の取組

### < キーワード：学ぶ >

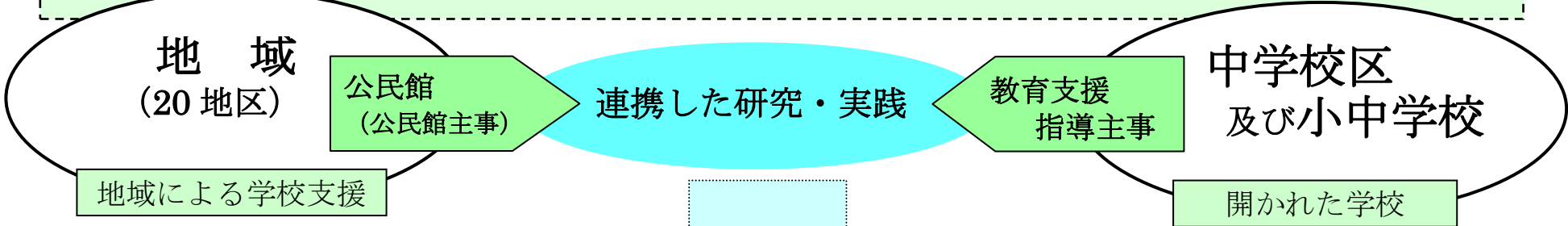
【地域で学ぶ】  
地域で子どもを育てるしくみの充実  
→学ぶ意欲・学ぶ力の醸成

【学校で学ぶ】  
9年間の系統的な教育活動の推進研究  
→基礎的な学力の習得

<例>  
地域の主体的参画による  
学習支援ボランティア

【地域に学ぶ】  
ふるさと学習（キャリア教育・体験学習）の充実  
→地域を知る、地域の人を知る（生き様に学ぶ）

<例>  
学力の客観的な習得状況  
の把握と授業改善



飯田市小中連携・一貫教育の基本方針の具体的展開から  
「地育力によるこころ豊かな人づくり」の実現へ

- ・ 知・徳・体のバランスの取れた生きる力を育む人づくり (自立)
- ・ 学び合い育ち合いで、豊かな人生を拓く人づくり (共育)
- ・ 多様な文化や価値観を認め合い、共に生きる社会を担う人づくり (共生)